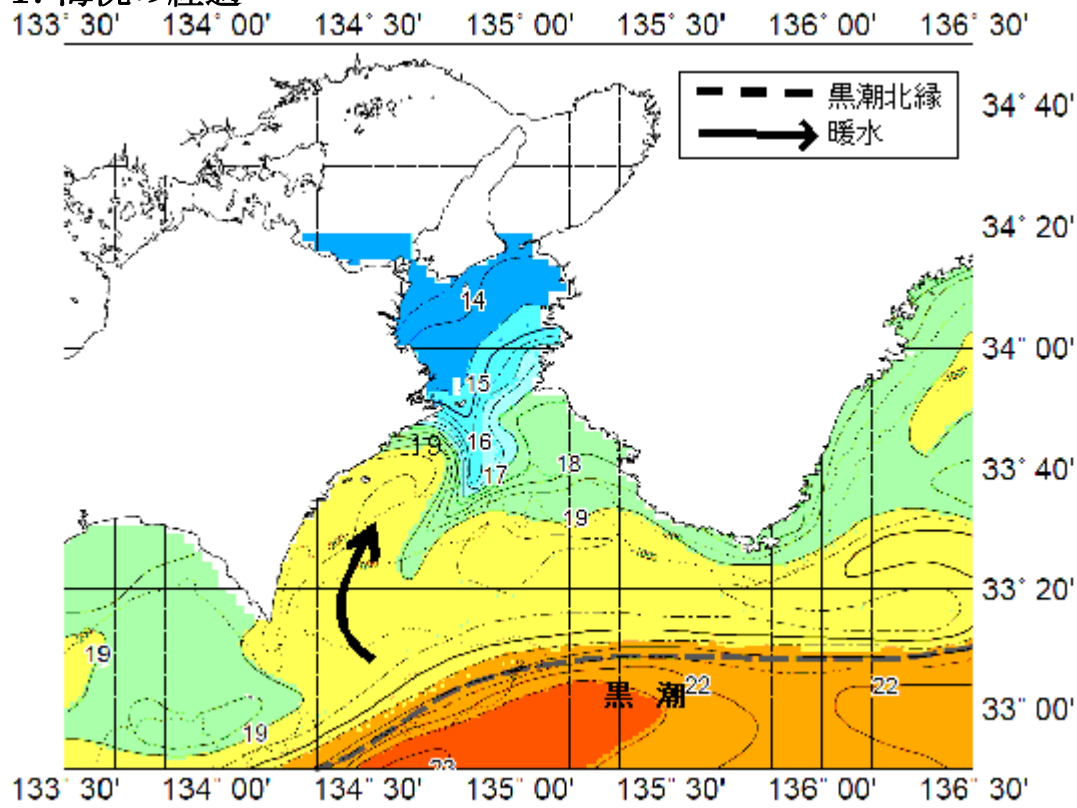


1. 海況の経過

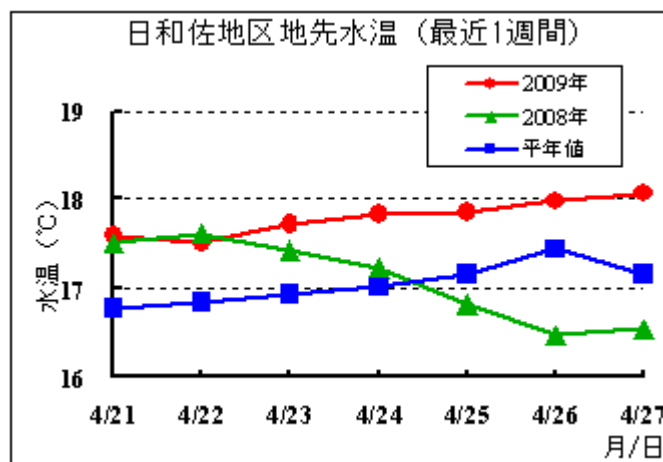
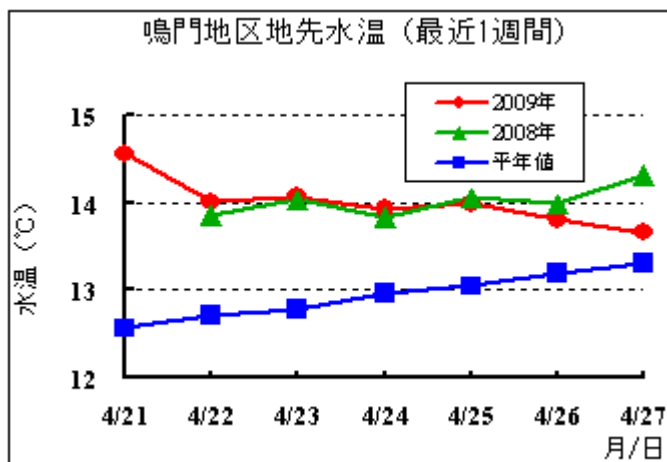


海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.4.27)を示した。黒潮は、室戸岬沖と潮岬沖でやや離岸している。室戸岬以西の黒潮は、都井岬沖で接岸、足摺岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は21～23℃台である。表面水温は播磨灘が13℃台、紀伊水道が13～16℃台、外域が15～19℃台である。紀伊水道外域では、室戸沖合から海部沿岸に向けて緩やかな暖水流入があり、中央部では内海系水が流出している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の13.7～14.6℃、日和佐地区は「やや高め」の17.5～18.1℃、牟岐地区は「高め」～「かなり高め」の18.5～19.7℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが0.2トン(1日1隻当たり17kg)、カタクチイワシが0.2トン(同24kg)、キビナゴが0.3トン(同38kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にイサキが0.7トン(同119kg)、中主体にイボダイが0.2トン(同36kg)、大主体にクロダイが1.1トン(同150kg)、中・小主体にチダイが0.3トン(同85kg)、中主体にハマチが0.6トン(同138kg)、ブリが0.4トン(同50kg)、小小主体にマアジが7.7トン(同1.3トン)、マルアジが1.2トン(同311kg)、メジロが3.7トン(同530kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大・中主体にカツオが1.1トン(同25kg)、タチウオが0.2トン(同14kg)、大主体にマルアジが0.2トン(同26kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 4月20日～4月26日 県下5漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	14	235	17	
		カタクチイワシ	9	213	24	
		キビナゴ	7	266	38	
大型定置網		イサキ	6	716	119	大主体
		イボダイ	6	217	36	中主体
		クロダイ	7	1,052	150	大主体
		チダイ	4	340	85	中・小主体
		ハマチ	4	553	138	中主体
		ブリ	7	353	50	
		マアジ	6	7,684	1,281	小小主体
		マルアジ	4	1,242	311	
		メジロ	7	3,710	530	
		釣り	カツオ	45	1,129	25
タチウオ	16		221	14		
マルアジ	9		238	26	大主体	

特異事項:

内海系水が海部沿岸沿いに南下した場合、ミズクラゲやアカクラゲが多く来遊している。

週間予報:

黒潮は、室戸岬と潮岬でやや離岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の14℃台、日和佐地先で「やや高め」の18℃台で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上